



キャッチフレーズ

みんなで
声をかけよう
手をのばそう
手をつなごう
挨拶をしよう

声かけて 心がつながる 潮田東部

高齢者、子ども、子育て中の方、介護をしている方、障害のある方、外国にルーツのある方など、様々な世代、様々な環境にある方が地域でつながり、支えあうことを大切にします。地域で何が課題になっているか、住民が何を望んでいるか、住民の『声』をもとに取り組んでいくことを目指します。各町会の情報交換を密にし、取組を共有し、広げていきます。

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域みんなで支えあい

具体的な活動

- ① 災害に備えた地域ごとの仕組みづくりをすすめます。
(要援護者支援等)
- ② 支援者間での情報共有をすすめます。
(例：各自治会で様々な講習会等を実施、情報交換を促進し様々な人との連携を広める、地域と関係機関との情報交換など支援者間で情報を共有する、こども食堂を行っている自治会への協力)



盆踊り大会

2 地域の中での見守り活動

具体的な活動

- ① 高齢者に限らず見守り活動を推進します。
- ② 様々な世代、様々な環境にある方への理解・啓発に取り組みます。
(例：登下校時の見守りを継続、緊急連絡カードを子どもから大人まで広める、各イベント《連合、自治町会》への参加を積極的に呼びかける)



敬老祝賀会

3 地域で楽しく健康づくり

具体的な活動

- ① 4公園の元気づくりステーションを充実させます。
- ② 既存の活動(ウォーキングや体操等)のPRを強化します。
- ③ 活動を通じ、多世代交流、趣味特技を活かした健康づくりに取り組みます。
(例：マンネリ化しないような工夫を続ける、参加するみんなが興味を持てる企画、公園の掃除、花壇づくりへの参加呼びかけ)



元気アップウォーキング

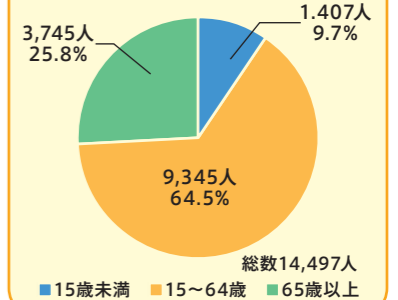


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川と海側の工場地帯に挟まれた平坦なエリアで、川崎市に隣接しています。地域には、潮田神社、潮田小学校、入船小学校、潮田中学校、寛政中学校などがあります。

【年齢3区分別人ログラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

地区懇談会(潮田東部地区フォーラム)で話し合い、下記のような様々な意見が出ました。この意見をもとにさらに地域で話し合い、第5期計画をまとめていきました。

- 支えあい**
- 高齢者サロンでの詐欺防止講習
 - 何気ない会話から知り合いを増やすことが災害時に役立つ
 - 要援護者名簿だけでなく各町会で見守りの決めごとが必要
 - 多国籍交流のまち、人権の授業が充実。誰もが溶け込みやすい地域性
- 見守り**
- 住民同士の見守りで、アパート室内で倒れていた人を見つけたことがある
 - ポッチャを通じた多世代交流
 - 転入者は町会に入りづらい傾向。子どもが加入のきっかけになる
 - 登下校時の声かけ、見守りは安心につながる
- 健康づくり**
- コロナ禍を経て、取組再開、継続
 - 各公園で元気づくりステーション、元気アップウォーキング、ラジオ体操を実施しているが、参加者が年々減少している

これまでの計画(第4期)の振り返り

声かけて 心がつながる 潮田東部

目標① 地域みんなで支えあい 目標② 地域の中での見守り活動 目標③ 地域で楽しく健康づくり

これまでの活動 ～潮田東部地区フォーラムを開催～

- 【第1回】令和6年5月13日(月)「緊急連絡カード」のリニューアルを検討、高齢者や子どもの見守り活動での課題を共有
- 【第2回】令和6年8月2日(金)「緊急連絡カード」の内容について話し合い、支え合いマップについて各自治会の状況を共有
- 【第3回】令和6年11月13日(水) 地域の見守りや子育て支援のあり方について意見交換



あいねっと地区フォーラム